

( 書 式 7 - 2 - 1 )

特 定 の 相 続 人 に 対 す る 遺 留 分 減 殺 請 求 通  
知 書

遺 留 分 減 殺 請 求 通 知 書

平成〇〇年〇〇月〇〇日、被相続人〇〇〇  
〇が亡くなりました。

被相続人〇〇〇〇の法定相続人は被相続人  
の子である長男の貴殿、長女の〇〇〇〇、次  
女の〇〇〇〇及び次男の私の4名です。

被相続人は全財産を貴殿に相続させる旨の  
遺言を作成しており、遺言は執行されました  
。

私の遺留分は遺産全体の8分の1にあたり  
ますが、上記遺言は私の遺留分を侵害して  
おります。

よって、私は貴殿に対して遺留分減殺の請  
求をいたします。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号  
〇 〇 〇 〇

〇 〇 県 〇 〇 市 〇 〇 町 〇 番 〇 号  
〇 〇 〇 〇 殿



## 解 説

(特定の相続人に対する遺留分減殺請求通知書)

兄弟姉妹以外の相続人は、一定割合の遺留分を有する。文例のように相続人が子4名である場合は、各自8分の1である。

遺留分を侵害された者は、相続の開始及び減殺すべき贈与又は遺贈があったことを知った時から、1年以内に、遺留分の減殺請求をしないと、時効によってその権利が消滅する。相続開始の時から10年を経過したときも同様である。



\* 遺留分の詳細は、<https://ac-souzoku.jp/inheritance/reserve/>をご覧ください。

弁護士法人朝日中央綜合法律事務所